

Cisco CallManager 3.0 の WebAttendant クライアント アプリケーション TCD データベースパスの位置の指定

目次

[概要](#)

[タスク 1: TCD データベースパスの変更](#)

[タスク 2: ネットワークドライブのマッピング](#)

[関連情報](#)

このドキュメントは、10 部で構成されるドキュメント セットの第 6 部です。各ドキュメントの詳細は、ドキュメント セットの索引で次の項目を参照してください。

[Cisco WebAttendant for CallManager 3.0 のインストールおよび設定](#)

WebAttendant クライアント アプリケーションは、デフォルトでは Cisco CallManager サーバのユーザ データベースから、キャッシュされたユーザ ディレクトリ情報を直接使用するように設定されます。これは推奨されるオプションです。この場合、データベースへの WebAttendant クライアントのパスは `[\<ip-address>\WAUSERS]` (`<ip-address>` が CallManager サーバのアドレス)、または `[\<dns-name>\WAUSERS]` (`<dns-name>` が CallManager サーバの名前) です。

ただし、WebAttendant クライアントがユーザ データベースにアクセスできるようにするためのオプションが他にあります。WebAttendant クライアント アプリケーションを、それ自体のハードドライブ上、またはマッピングされた (割り当てられた) ネットワークドライブを使用したリモートサーバのハードドライブ上のデータベースのローカル コピーを指すように設定できます。代替のオプションのいずれかを実装する場合、WebAttendant クライアントが最も新しい情報が含まれたデータベースにアクセスできるように、(データベースを CallManager サーバから WebAttendant クライアント用に使用する場所にコピーして) データベースを定期的に手動で更新する必要があります。

タスク 1: TCD データベースパスの変更

このタスクでは、WebAttendant クライアント アプリケーションをユーザ データベースのローカル コピーを指すように設定する方法について説明します。この例では、ファイルのコピーはローカル フォルダの `d:\users` に配置されます。

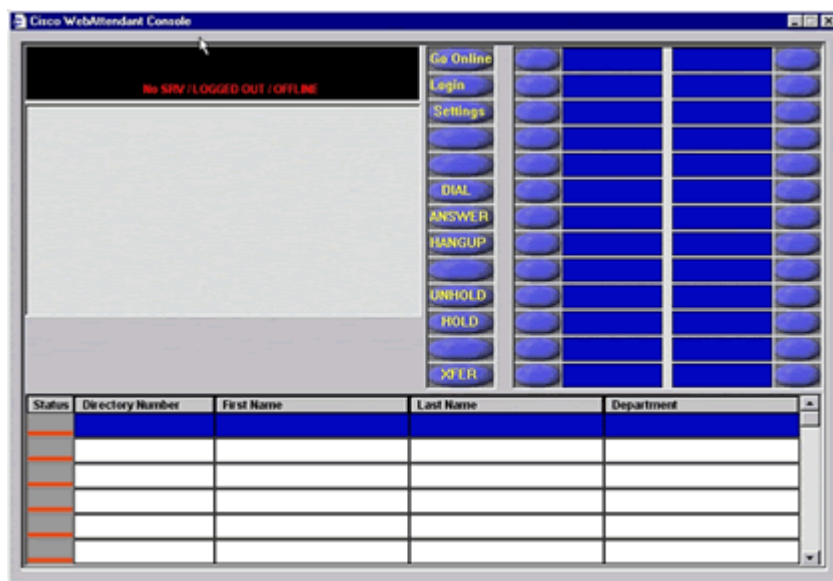
この方法を使用した場合、Cisco CallManager を通じて行われたデータベースの変更は、自動的に Cisco WebAttendant クライアントで使用できるようにはなりません。データベース ファイルのより新しいバージョンを、WebAttendant クライアントで指すように設定された 1 つ以上の場所にコピーする必要があります。これは管理者が手動で行うことができ、また最新のデータベースのコピーが CallManager サーバの FTP ルート フォルダに格納されている場合は、ユーザ自身が行うこともできます。FTP ルート フォルダを使用したファイルの配布については、「[Cisco WebAttendant のクライアント PC へのインストールおよび設定](#)」を参照してください。

注: マップされたネットワーク ドライブを使用してリモート フォルダを指示するための手順は、ローカル フォルダを指示するための手順と同じです。ただし、WebAttendant のクライアント PC では、ユーザ データベースにアクセスするためにリモート フォルダを指す、マップされたネットワーク ドライブが必要になります。ネットワーク ドライブをリモート フォルダにマップする方法の説明については、次のタスクを参照してください。

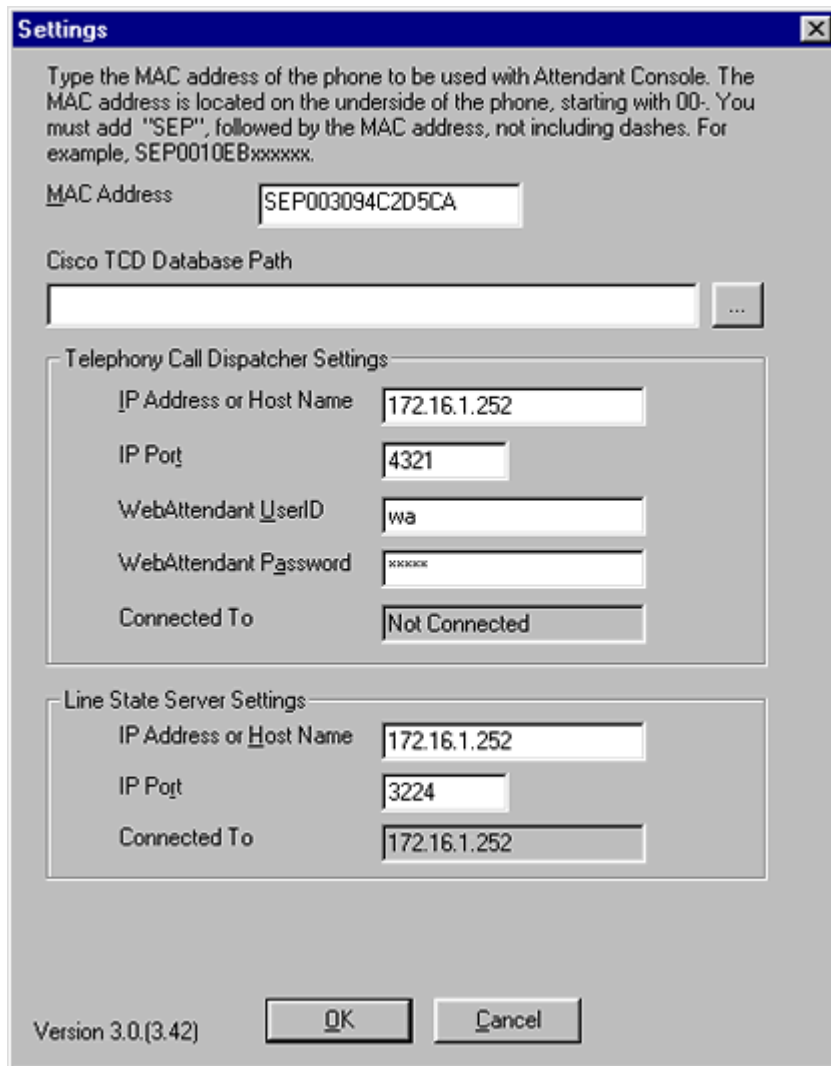
最後に変更されたユーザ データベースのコピー (UsersDB1.mdb または UsersDB2.md) をローカル フォルダの d:\users に配置します。データベース ファイルは、CallManager サーバの C:\Program Files\Cisco\Users\ にあります。

WebAttendant クライアント アプリケーションを起動します。使用できないデータベースに関するメッセージが表示されたら [OK] を選択します。

1. WebAttendant コンソール画面から [Settings] オプションを選択します。

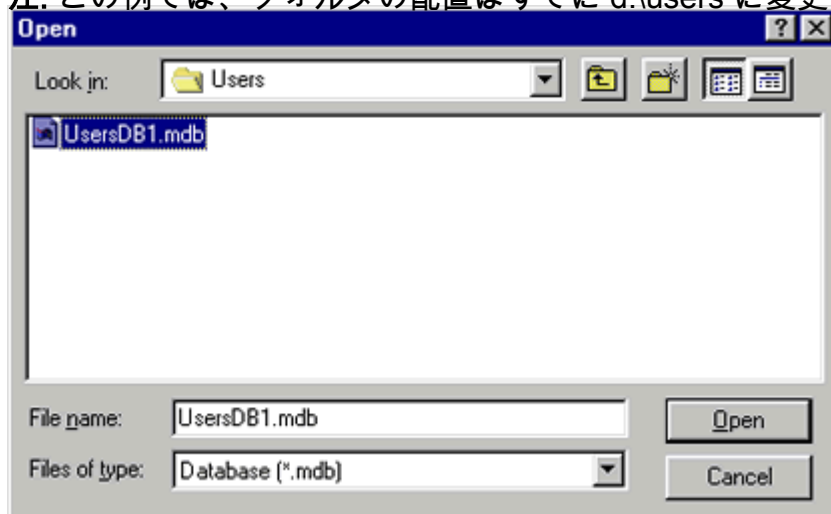


3. 次のような画面が表示されます。[QOS] タブをクリックします。WebAttendant の [Settings] ウィンドウで (image tag) ボタンをクリックします。



4. 次のような画面が表示されます。

注: この例では、フォルダの配置はすでに d:\users に変更されています。



6. データベースの **UsersDB1.mdb** を選択します。

7. [Open] をクリックして、[OK] をクリックします。変更が WebAttendant クライアント アプリケーションを再起動するまで有効にならないことが通知されます。

今度は次のように画面が表示されます。

Settings

Type the MAC address of the phone to be used with Attendant Console. The MAC address is located on the underside of the phone, starting with 00. You must add "SEP", followed by the MAC address, not including dashes. For example, SEP0010EBxxxxxx.

MAC Address: SEP003094C2D5CA

Cisco TCD Database Path: D:\Users\UsersDB1.mdb

Telephony Call Dispatcher Settings

IP Address or Host Name: 172.16.1.252

IP Port: 4321

WebAttendant UserID: wa

WebAttendant Password: xxxxxx

Connected To: Not Connected

Line State Server Settings

IP Address or Host Name: 172.16.1.252

IP Port: 3224

Connected To: 172.16.1.252



Version 3.0.(3.42)

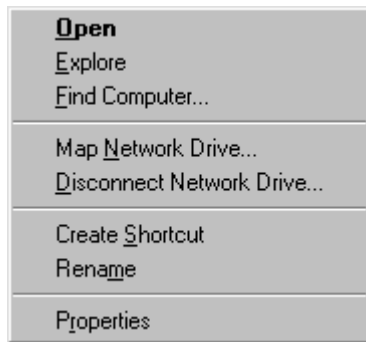
OK Cancel

8. WebAttendant コンソールを終了します。

タスク 2： ネットワーク ドライブのマップ

このタスクでは、**server1** という名前のリモート サーバ上の **wa_dbase** という名前のフォルダにネットワーク ドライブをマップする方法について説明します。**wa_dbase** フォルダは、**server1** 上に共有フォルダとしてすでにセットアップされています。共有フォルダの設定の詳細については、「[Cisco WebAttendant のユーザ ディレクトリ データベース情報の共有](#)」を参照してください。

1. WebAttendant 用 PC のデスクトップのネットワークのアイコンを右クリックします。
2. 
3. [Map Network Drive] を選択します。



5. ユーザ データベースが含まれたリモート フォルダへのパスを入力します。形式は、[\\<server_dns_name>\shared_folder_name] または [\\<server_ip_address>\shared_folder_name] です。この例では、それぞれ server1 および wa_dbase です。



[OK] をクリックします。

これで、このタスクは完了です。タスク 1 に戻り、新しいデータベースの場所 e:\ を使用するように設定して WebAttendant クライアント アプリケーションの設定を終了します。

これで、このタスクは終了です。 [メインのインデックス ページ](#) に戻ります。

関連情報

- [音声に関する技術サポート](#)
 - [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
 - [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)
-